



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2931 回 第 34 例会
2017 年 3 月 17 日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R I 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

◀ 例会場 事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行 (目次)

- P 1 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告、来訪者挨拶、会務報告
- P 2~3 Rの友3月号紹介
- P 3~4 本田会長卓話
「国際ロータリー第2720地区キッチンカーの活用に向けて」
ココ・R財・米山・人吉奨学寄付カード
~ミニR情報~



岸野様は20年前にロータリークラブの会員であり、鹿児島にボランティアに行かれる途中、人吉がとても懐かしく大好きな町だったということで、わざわざお電話いただきお立ち寄りいただいたことを大変嬉しく思っております。何年経っても忘れず友情と絆を深めていただいたことは、ロータリーの素晴らしさの一つだと改めて思いました。後ほど近況等のご挨拶をいただきますが、どうぞいつまでもお元気で社会奉仕されますようご祈念申し上げます。

本日は、以前から会員の皆様にお話しておりましたRI第2720地区の熊本・大分地震復興プロジェクトとして、当クラブの提案が地区にて採択され「命のロータリーキッチンカー」が完成いたしました。本日もあゆの里玄関にご披露してございますので是非見ていただければと思っております。後ほどお時間をいただきまして、会長卓話として熊本地震復旧・復興に向けて未来へ向けて走る“命のロータリーキッチンカー”と題して卓話をさせていただきます。

震災から1年、更なる復興と支援の輪を広げる奉仕の機会として、また、ロータリーの公共イメージと認知度の向上をめざしいよいよスタートいたします。4月15日土曜日には益城町テクノ仮設住宅でキックオフいたしますので多くのロータリアンの皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、今月のロータリーの友を会員の皆様も読まれたと思いますが、縦組みの16ページに“わがまちの味”というコーナーで人吉のつぼん汁が掲載されました。全国の皆様に、郷土料理を代表するつぼん汁を紹介し、球磨焼酎と食の魅力のアピールしながら、我がふるさと人吉に多くの皆様に訪れていただきたいと思っております。

本日は盛りだくさんのプログラムが組んでありますのでこれで会長の時間を終わります。

点 鐘 本田 節 会長

歌 唱 ッグラーダー 新堀純子 SAA 委員

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 石蔵尚之プログラム委員長

来訪者紹介 本田 節 会長

元人吉RC会員
元日本生命人吉支部長 岸野 稔 様

会長の時間

会長 本田 節

本日のご来訪者は、元人吉ロータリークラブ会員で、元日本生命人吉支部長であった岸野稔様にご来訪いただいております。心より歓迎申し上げます。

【連絡事項】

- ・来週の例会は地区大会に参加のため取り止めですお間違えの無いようにお願いします。また地区大会プログラムに「各クラブよりのお知らせ」で60周年のキャラバンをしますので全員登壇をお願いします。
- ・「のびのびユースネットくまもと第77号」が届きましたので漆野青少年奉仕委員長にお渡しします。
- ・人吉RACから「アクトの森清掃活動」の案内がありました詳細は、平田アクト委員長にお尋ねください。
- ・玉名RC50周年記念事業「玉名で終活」の案内が届いております参加されます方は、事務局までお尋ねください。
- ・熊本地震の慰問を目的に「竹の森楽宴」が3月21と22日の17時からあゆの里で無料でコンサートが開催されます。当館の女将からご案内でした。

出席率報告

委員長 内藤靖雄

会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	4名	65.0%	
欠 席 者 数	21名	3 / 3 出 席 率	75.0%
出 席 者 数	39名	補 填 数	5名
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	83.33%

- *届け出欠席 延岡・有村・宮崎・丸尾・堤正・戸高・大野
中村・村田・渡辺・宮原・岩井・小林祐・外山
漆野・堀川・友永・田上・小林清・村山・尾上
- *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 益田, 齊藤
- *メイクアップ 台北稲江RC30周年式典; 北・浅野・和田
熊本第7グループ IM; 葉山 宇土RC; 内藤

【来訪者挨拶】 元人吉RC会員 岸野 稔 様

本日は諸事多用の中申し訳ありません。出席させて頂きありがとうございます。

平成7年～8年度貴クラブにお世話になりました。本当に久しぶりにお会いする方はじめ初めてお会いする方々宜しくお願いします。当時日本生命の営業部長でした。

震災からまもなく1年、復興大変だったことでしょう。私はその時その近郊におりました。午前11時から午後1時まで熊本城見学、この8時間半後にM6.5震度7の大地震が起きました。人吉に縁のあった者の一人としてお役に立てればと思います。益々のご発展を祈念申し上げます。本日は誠に有難うございました。

【親睦委員会 ゴルフ愛好会】

大人のゴルフ修学旅行報告、
4月ゴルフご案内
4月15日(土) 9時30分集合
10時2分スタート、球磨カントリーC

【職業奉仕委員会】 委員長 原田知一郎

4月28日例会で優良職員表彰式を計画しております。お手元の優良職員推薦書にご記入いただき4月5日までにFAXもしくは事務局へご提出ください。宜しくお願いいたします。

【雑誌委員会】

ロータリーの友を読んで (2017年3月号)

紹介者 加登住 亮会員



73ページからの地方創生についての記事で、それぞれの地方の良さをどのように知り、どう気づき、どう伝えるかに触れていました。私自身、人吉のことを知っているようで全然知らないなあと思うことが良くあります。

また、言葉だけの「伝える」ではなくて「伝える化」を図るためには適切な感情と表情が必要と書かれていました。経験を伴って伝えることが1番なのかなとも思いました。

気づきと言えば、14ページからの水についての取り組みに興味を湧きました。モンゴル・ゲル地区では、保育所に上下水道が無く、夏にはネズミが原因で健康被害まで起きていたとありました。日本では考えられない状況ですね。より安全な井戸作りは子どもたちの為にも素晴らしい事業です。

今あるものの大事さ、良さにはなかなか気付きません。この記事で人吉市の断水のことを思い出しました。地震のとき断水するかもとなり、はたと困りました。上下水道が使えない状態が何日も続く場面に実際に出会ったことなんてありません。幸い園に地下水の井戸があり、その時は、飲み水以外の生活用水の確保は何とかなるめどが立ちました。結局、断水の地域ではありませんでしたが、井戸があることの有難さをこれほど実感したことはありませんでした。今あるものの本当の有難さにはなかなか気付かないなとも思った経験でした。

何となくでは難しいかもしれませんが、少しずつでも今ある地域の良さに気付いていくことが大事なのだと改めて考えさせられました。

【卓話】

国際ロータリー第2720地区
キッチンカーの活用に向けて



熊本地震 復旧・復興に向けて！
未来へ向けて走る
“命のロータリーキッチンカー”

会長 本田 節

- ・ 昨年の4月14日と16日に発生した熊本・大分地震
- ・ 4月19日全国38地区のガバナーエレクトに支援の要請. 結果として2億7千万の義援金が集まる
- ・ 6月、第1回目の義援金活用支援対策会実施
- ・ 10月、2720地区各クラブへ支援プロジェクトの提案募集
- ・ 19クラブから合わせて34事業の提案有り
- ・ プロジェクトチームで検討した結果、21の事業に対して承認
- ・ 当人吉ロータリークラブから提案した未来へ向けて走る“命のロータリーキッチンカー”提案採択

4月17日未明 南阿蘇に暮らす地域づくりの仲間から「**助けて!!!**」とのSOS!! 土砂崩れで崩壊した阿蘇大橋付近。壊滅的な黒川集落。



被災の少なかった人吉球磨。「**今、行動しないで、何を地域づくりというの!?**」という思いで、人吉球磨の地域づくり団体「ひとくまねつと」によるネットワークを活かした後方支援が始まった。

4月17日 後方支援活動の始動

電話1本で集まった、炊き出し準備を行う地域づくりの仲間の女性たち。まさにひまわり亭は後方支援の基地となった。

早速、4月17日に集合し準備を行い、食料や燃料、水、ガスボンベなどをもって炊き出しの手配を行った。



真っ赤な復興ユニフォーム「命のツーリズムシャツ」を着用し後方支援に向けて出発する地域づくりメンバー。**行政も民間も**一丸となって後方活動を始動した。



崩壊した甚大な被害を受けた集落の様子に心を痛めながら、友人の待つ南阿蘇へ向かった。人吉を出て5時間。やっとの思いで着いたのは夜中。車中泊をしながら、翌朝に備えた。



炊き出しの様子

炊きたてのごはんや焼きたての鯖など**日常のご飯**に、大変喜んで戴きました。



炊き出しを行っている我々の活動を聞きつけ、鹿児島県の地域づくりの仲間より、軽トラックいっぱい野菜を持ってきていただいた。



活かされるお母さんたちの、**知恵・経験・技**

長期保存できるように、地域のお母さんたちが野菜を保存加工！**もったいない精神**が活かされる！



炊き出しの際にライフラインが使えない状況を想定して、乾物や冷凍野菜など加工保存した野菜に缶詰やフリーズドライの製品を加えた、「命の食事」の勉強会を実施した。



新しい食文化×古き食文化「復古創新」命の食事



災害時における新しいメニューづくり

高齢者や乳幼児への食事
冷凍したカボチャのマッシュ
+
支援物資のスキムミルク

戦後の食卓を守ってきたお母さんたち。

ムラのおかあさんたちの出番！
かまど炊きごはんづくり



東日本大震災から学ぶ、 後方支援における中間支援組織の重要性 ～常に学び続ける姿勢&交流～

地域づくりの仲間である岩手県遠野市より、東日本大震災後の支援活動を行っている、NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークの代表およびスタッフの皆さまから、後方支援のあり方について勉強した。



被災地のニーズの変化にあわせた後方支援のあり方心の安らぎと笑顔を取り戻したいと、出前カフェを実施。避難所を自主的に運営する民間の地域づくりリーダーが、新しいコミュニティをつくっていく。彼女と双方に情報交換ができたからこそ、持続できた。



～命の食事プロジェクト～

- ・健康をテーマにした郷土料理や家庭料理
- ・非常時における新しい食のメニュー開発
- ・伝統食である糍と今注目されているえごま油
地元の新鮮な食材の効能や魅力の発信

命と食に関する啓発

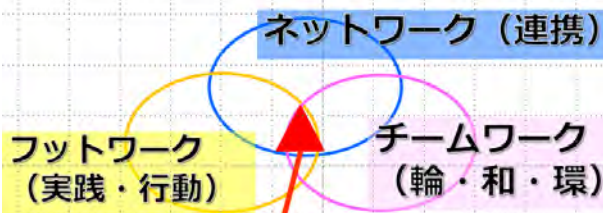
新たな復興に向けたレシピ集発行
(熊本銀行ふるさと振興基金活用)

今回の熊本震災から学んだ地域づくり

- ① いざという時のネットワークの素晴らしさ
- ② 日頃からの連携した交流と研修
- ③ 「暮らし」、特に「食」に基づく女性達の経験・知恵・技が災害時において大きなパワーであった
- ④ 老若男女、地域に生きる全ての人々に役割がある。

コミュニティが希薄している現在、お互いに助け合い、支え合い、励まし合うという、地域づくり・地域の繋がりがこれからはますます需要である。

地域づくりに必要な3つのワーク



- ・民間の拠点
- ・中間支援組織
- ・人材 (コーディネーター)
- ・民間と行政との連携

更なる展開に向けて

被災地では水や電気、ガスの供給が滞っているため、毎回炊き出しの度に、前日から調理の下ごしらえを行い、また調理器具 (ガスコンロ、ガス釜、水) 等を手配・準備を行うなど、労力の負担が大きかった。

もっと身軽により多くの人を誘って、被災地に支援に行きたい！

キッチンカープロジェクトへ！

食により身心の癒しと安らぎを

自立支援！

求められる長期的な支援

仮設住宅暮らしの今、必要なコミュニティ形成！

食を核にした交流の場づくりの機会

キッチンカープロジェクトにむけて

- 申請先：熊本・大分地震支援プロジェクトとして、熊本・大分地震支援対策チームに申請。
- 申請日：2016年11月22日
- 交付額：20,000,112円

ロータリアンを中心とした支援による展開

- ◎ロータリアンからの備品や食料調達等で、間接的経済活性化へ寄与
- ◎ピンチをチャンスに！**奉仕の機会**として、日本のロータリーへ
- ◎ロータリーの公共イメージと認知度の向上

ロータリアンの企業様のご協力により、着々と準備が進んでいます！



これがキッチンカーです！



運搬用車両です



《キッチンカーの始動およびお披露目について》

震災から1年を迎える4月15日（土曜）、益城町のテクノ仮設住宅でキックオフ！

益城だいすきプロジェクト代表および益城町テクノ仮設団地自治会長・吉村静代さんとの協働で実施します。



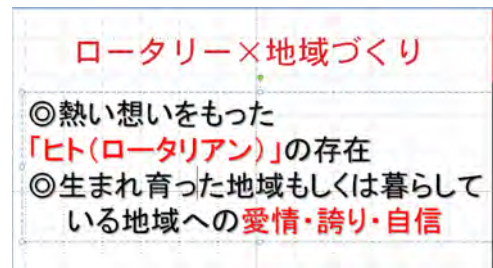
＜避難所の完全自主運営の立役者・吉村氏＞

●誰もが自分で考え、行動できる体制づくりを整えた避難所づくり@避難所

益城中央小が避難所となっていた当時、避難所の区画整理、避難者同士のつながりづくり、「自分のことは自分で」と避難所の自主運営の意識づくり、段ボールベッドの設置、キッズサロンやコミュニティカフェなど共有スペースづくりなどを働きかけた。

●10年先、20年先を見据えたまちづくり、コミュニティづくり@仮設住宅

東日本大震災時に見受けられた孤独死の問題を踏まえ、行政へ掛け合い、中央小の避難者を仮設団地で隣同士や同じエリアにしてもらうなど配慮。先を見据えたコミュニティづくりに精力的に取り組んでいる。



ピンチをチャンスに、

目指すは日本一のロータリー！

ジョン・ジャームRI会長のテーマ、

「人類に奉仕する」

前田眞実が掲げる地区スローガン、

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること



**【寄付カード】ニコニコ箱委員長 竹長一幸
〈ニコニコ箱委員会〉**

- **本田会長** 岸野稔様のご来訪を心より歓迎致します。人吉ロータリークラブを忘れないで友情をつないでいただき感謝です。
- **中川会員** 岸野様ようこそおいで下さいました。お元気そうで何よりです。大人修学旅行ゴルフ、島津GCで優勝させて戴きました。
- **平田会員** 3/15孫が高校受験に合格、3/6日娘の准看護学校卒業3/16は准護の試験も合格しまして私の役目がたくさんある中で2つ減ったことにニコニコします。
- **浅野会員** 大人の修学旅行、1日目優勝お礼

〈米山記念奨学委員会〉

- **伊久美会員** 人吉高校8回生で東京在住の弟が去る3月7日に死去いたしました。5年前の兄に続いて肉親の別れは悲しいものです。

〈人吉RC奨学基金委員会〉

- **ゴルフ愛好会** ワンオンチャレンジで集まった寄附です。
- **伊久美会員** 米山カードと同文

点 鐘 本 田 節 会 長

例会出席の大切さ

ロータリーでは毎週1回決まった曜日と時刻に例会を開きますが、例会の所要時間は日本では、概ね1時間です。

ロータリーではこの例会への出席を最も重要視し、その規則も非常に厳格です。従って入会前にこのことを十分ご承知の上で入会されることと思いますが、それでも最初のうちはこの厳しさに戸惑って、いつまで続くことかと不安に思われる方もあるかと思えます。しかし、入会して暫くの間は我慢して時間のやりくりを試みてください。その内には必ず習慣となり、無理なく出席できるようになります。

ロータリーへお入りいただく方は周辺地域内で1つの職業の代表者の一人であり、皆さんお忙しい方がかりですが週1回食事を共にし、多業種の代表の方と懇談し、新しい情報の交換をし、心身をリラックスする。僅か1時間の余裕づくりが習慣となるまで暫くの辛抱です。

例会出席という義務

前述の通り、ロータリアンには、例会に出席するという義務があります。出席の要件については、詳しく標準ロータリー・クラブ定款に規定されていますが、ホームクラブに出席できないときは、他クラブの例会や、ロータリーのその他会合（地区大会やインターシティーミーティングなど）に出席する「メイクアップ（Make-up）」という方法で、通常の例会欠席を補うことができます。この制度を活用することによって、出席はかなり楽になるはずですが。

欠席の補填（メイクアップ）

本クラブの例会に欠席の場合、その例会の前14日、または後14日以内に、他のどこかのロータリー・クラブの例会、またはクラブ理事会によって承認されたクラブの奉仕プロジェクトに出席することで、その欠席を補填することができます。